

# いぐさ新品種「さざなみ」について

中野善雄・定平正吉・松沢正知・浜田四郎

## 1 緒 言

戦後において既存の品種が不純であり、早急に新品種の育成が望まれたが、中でも豊表用動力織機の普及が進み、それが栽培面積の拡大をもたらした。かかる情勢の中で品質を損なわず栽培容易な多収品種の出現が望まれるようになった。この要望にそって昭和32年に育成されたのが本品種で、直ちに広島、熊本、福岡各県の奨励品種に採用され、これらの県の主力品種になり現在に至っている。育成経過及び特性の概要を報告する。

本品種の地域適応性検定の協力を得た関係県の試験研究機関担当者並びに広島県内関係農業改良普及所普及員各位に厚く謝意を表す。

## 2 来歴及び育成経過

昭和22年12月農林省西条農事改良実験所瀬戸試験地(昭和26年より広島県立農業試験場東部支場と改称)において、広島県沼隈郡高須村(現在尾道市高須町)の在来種を取寄せ、栄養系分離法により選抜育成したもので、昭和23年畑苗床における系統選抜試験、昭和24年、25年に本田系統選抜試験、昭和26年生産力検定予備試験、昭和27年生産力検定試験を行なって、同年12月「瀬戸2号」の系統名が付された。昭和28年より関係県に苗を配布し、昭和29年、30年に地方適否を確かめ、また昭和30年には広島県内主産地に試作し成績優良と認められた。昭和32年4月いぐさ農林1号に登録され、「さざなみ」と命名された。広島県奨励品種には昭和32年3月に採用された。

育成経過の概要はつぎのとおりである。

年 次	昭23	昭24	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29		昭30		昭31		昭32
試 験 名	系統選抜	系統選抜	系統選抜	生検予備	生検	増殖	特検	地方適否	系統比較	地方適否	系統比較	地方適否	系統比較
供試系統数	350	133	47	12	5	1	3	3	3	3	5	3	5
選抜系統数	133	47	12	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-
試験場所数	-	-	-	-	-	-	-	3	-	11	-	2	-

(注) 生検予備は生産力検定予備試験 生検は生産力検定試験 特検は特性検定試験  
地方適否は地方適否試験(県外, 県内)

## 3 特 性

生育型は伸長型で、分けつはやや劣るが茎の伸長は良好である。収量が多く、特に長い重率が高い多収型の品種である。着花は広島6号、岡山3号に比べるとやや多い。茎はやや太いきらいはあるが硬く、色沢粒揃共に良く動力織用に好適する。本州中部以南の温暖地に好適するが、地域適応性が広く、寒地でも比較的良く、また年による作柄の変動が少なく栽培に安定性がある。排水不良田では茎がやや太くなるので品質が劣る。紋枯病には比較的強い。

## 4 適地及び栽培上の注意

本州中部以南の地帯に適する。

元肥並びに早期に窒素を多施すると着花が多くなり、先枯れを誘発し、また倒伏時期が早まって品質が低下する。少げつ性であるため春季以降は間断灌漑を行なって茎数の増加を図る必要がある。

## 5 試 験 成 績

## (1) 生育、収量調査成績

品 種 名	年 次	茎 長 (cm)	1株当 茎 数 (本)	収 量 (kg/a)		収 量 指 数		長い重率 (%)	3.3m <sup>2</sup> 当長い 花序数
				乾 茎 重	長い重	乾 茎 重	長い重		
さ ざ な み	昭27	146	109	139.1	97.9	116	128	70.4	83
	29	147	115	126.9	99.0	101	105	78.0	210
	30	143	144	123.9	91.9	104	115	74.2	55
	31	140	106	114.1	86.2	102	111	75.5	323
	平均	144	119	126.0	93.8	106	115	74.5	168
広 島 6 号 (比 較)	27	140	115	119.6	76.5	100	100	64.0	2
	29	137	130	125.8	94.2	100	100	74.9	13
	30	135	156	118.8	79.6	100	100	67.0	4
	31	134	105	112.3	77.9	100	100	69.4	32
	平均	137	127	119.1	82.1	100	100	68.8	13
岡 山 3 号 (比 較)	27	144	108	137.3	97.5	115	127	71.0	1
	29	142	119	125.7	97.9	100	104	77.9	31
	30	141	150	123.3	91.4	104	115	74.1	10
	31	146	104	114.8	87.1	102	112	75.9	49
	平均	143	120	125.3	93.5	105	115	74.7	23

## (2) 品質調査成績

品 種 名	茎の太さ (mm)		乾 茎 の 品 質			引通表延製織長(m/a)		畳表の 品 質
	普通栽培	湛水栽培	粒 揃	色 沢	硬 軟	29年	31年	
さ ざ な み	1.7	1.9	やや良	やや良	硬	109.0	99.4	やや良
広島6号(比較)	1.6	1.7	良	良	中	104.2	88.8	やや良
岡山3号(比較)	1.7	1.9	中	中	中	104.5	97.2	中

(3) 地方適否試験生育，収量調査成績

県名	品 種 名	年次	茎長 (cm)	1株当 茎数 (本)	収 量 (kg/a)		収量指数		長い 重率 (%)	3.3m <sup>2</sup> 当長い 花序数
					乾茎重	長い重	乾茎重	長い重		
岡山	さ ざ な み	昭29	148	82	131.0	109.9	101	101	83.9	359
		30	142	74	128.6	87.6	102	101	68.1	274
		平均	145	78	129.8	98.8	102	101	76.0	317
	広島6号(比較)	29	144	90	134.9	109.8	104	101	81.4	41
		30	135	80	119.6	74.3	95	85	62.6	5
		平均	140	85	126.8	92.1	100	93	72.0	23
岡山3号(比較)	29	147	80	129.8	108.5	100	100	83.6	63	
	30	140	84	125.5	87.0	100	100	69.3	33	
	平均	144	82	127.7	97.8	100	100	76.5	50	
高知	さ ざ な み	29	140	130	121.2	85.9	108	120	70.9	30
		30	139	126	163.0	110.8	107	138	68.0	33
		平均	140	128	142.1	98.4	108	129	69.5	32
	広島6号(比較)	29	131	141	112.5	71.5	100	100	63.6	55
		30	130	134	152.1	80.1	100	100	52.7	10
		平均	131	138	132.3	75.8	100	100	58.2	33
岡山3号(比較)	29	137	145	117.5	81.3	104	114	69.2	35	
	30	133	132	126.8	72.0	83	90	56.8	10	
	平均	135	139	122.2	76.7	94	102	63.0	23	
熊本	さ ざ な み	29	124	100	98.5	40.6	102	188	41.2	0
		30	131	132	100.4	64.4	102	104	64.1	0
		31	138	113	137.6	96.3	100	108	70.0	0
		平均	131	115	112.2	67.1	101	133	58.4	0
	広島6号(比較)	29	119	116	96.5	21.6	100	100	22.0	0
		30	131	124	98.2	61.9	100	100	63.0	0
31 平均		134 128	134 125	137.0 110.6	88.9 57.5	100 100	100 100	64.9 50.0	0 0	
岡山3号(比較)	29	127	98	102.8	53.0	107	245	51.6	0	
	30	132	143	104.6	70.6	107	114	67.5	0	
	31	137	109	129.0	88.9	94	100	68.9	0	
	平均	132	117	112.1	70.8	103	153	62.7	0	
福岡	さ ざ な み	30	138	80	131.8	86.2	119	144	65.4	52
		31	136	78	128.2	75.0	113	211	58.5	125
		平均	137	79	130.0	80.6	116	178	62.0	89
	岡山3号(比較)	30	134	79	122.4	77.0	112	129	62.9	1
		31	135	85	123.7	76.2	109	214	61.6	34
		平均	135	82	123.1	76.6	111	172	62.3	18
大莞3号(比較)	30	129	83	110.8	59.8	100	100	54.0	0	
	31	119	85	113.9	35.6	100	100	31.3	7	
	平均	124	84	112.4	47.7	100	100	42.7	4	
愛媛	さ ざ な み	30	119	84	114.8	67.4	113	126	58.7	3
	広島6号(比較)	"	124	86	104.0	53.6	100	100	51.0	3
	岡山3号(比較)	"	125	110	104.9	58.3	101	109	55.6	2
石川	さ ざ な み	30	129	150	124.0	93.1	96	97	75.1	233
	広島6号(比較)	"	128	164	121.7	85.5	94	89	70.3	86
	小松在来(比較)	"	135	128	128.8	95.6	100	100	74.2	1,143

## (4) 地方適否試験品質調査

県名	品 種 名	色 沢	粒 揃	硬 軟
岡山	さ ぎ な み 広島 6 号(比較) 岡山 3 号(比較)	やや良 やや良 やや良	中 やや良 やや良	中 やや軟 中
高知	さ ぎ な み 広島 6 号(比較) 岡山 3 号(比較)	やや良 やや良 やや良	やや良 良 やや良	やや硬 中 中
熊本	さ ぎ な み 広島 6 号(比較) 岡山 3 号(比較)	良 良 やや良	やや良 やや良 やや良	硬 中 中
福岡	さ ぎ な み 岡山 3 号(比較) 大 莞 3 号(比較)	中 やや不良 良	やや良 やや不良 やや良	硬 やや硬 軟
愛媛	さ ぎ な み 広島 6 号(比較) 岡山 3 号(比較)	中 やや良 中	やや良 やや良 やや良	硬 やや硬 やや硬
石川	さ ぎ な み 広島 6 号(比較) 小 松 在 来(比較)	中 良 やや不良	中 良 中	やや硬 やや軟 硬

(注) 岡山 岡山県立農業試験場早島い草分場  
 高知 高知県農業試験場  
 熊本 熊本県農業試験場八代支場  
 福岡 福岡県農業試験場筑後分場  
 愛媛 愛媛県立農業試験場  
 石川 石川県産物協会

(5) 広島県内主産地における試作成績(昭和30年)

場 所	品 種 名	茎長 (cm)	1株当 茎 数 (本)	収 量(kg/a)		長い 重率 (%)	色 沢	粒 揃	茎の 太さ	硬 軟
				乾茎重	長い重					
尾道市 高須町	さ ざ な み	144	103	111.4	70.9	63.6	良	やや良	中太	中
	広島6号(比較)	136	130	105.0	60.8	57.9	やや良	良	中細	やや軟
	岡山3号(比較)	142	118	110.6	73.5	66.4	やや良	やや良	中太	中
尾道市 美ノ郷町	さ ざ な み	134	107	100.5	-	-	—	—	—	—
	広島6号(比較)	126	107	95.3	-	-	—	—	—	—
	岡山3号(比較)	130	103	97.9	-	-	—	—	—	—
福山市 本郷町	さ ざ な み	138	87	97.5	57.4	58.8	良	中	中細	やや硬
	広島6号(比較)	135	107	104.3	56.6	54.3	中	中	中細	やや軟
	岡山3号(比較)	142	104	106.5	66.4	62.3	良	やや良	中細	中
芦品郡 駅家町	さ ざ な み	137	99	141.4	92.2	65.1	やや良	やや良	中太	中
	広島6号(比較)	131	111	126.8	76.9	60.7	中	中	中細	中
	岡山3号(比較)	139	101	135.8	91.5	67.4	やや良	やや良	中太	中

6 命 名 の 由 来

5, 6月頃の本田において、そよ風にいぐさが波打つありさま、及び畳表の織目の模様をあらわす。

7 育 成 従 事 者

年 次	試 験 場 所	育 成 従 事 者			
昭22	農林省西条農事改良実験所瀬戸試験地	中野善雄	三谷数美		定平正吉
23		"	"	佐藤文昭	
24		"	"	"	
25		"	松沢正知	浜田四郎	
26		広島農試東部支場	"	"	
27	"		"	"	
28	"		定平正吉		
29	"		"		
30	"		"		
31	"		"		
32	"		"		

## Summary

## Characteristics of a New Variety of Mat Rush Grass "Sazanami"

Yoshio NAKANO, Masayoshi SADAHIRA,

Masatomo MATSUZAWA and Shiro HAMADA

A new variety "Sazanami" which was called "Seto No. 2" in line generation, was bred up originally from a local variety cultivated in Onomichi City, Hiroshima Prefecture by method of clone separation. On account of its high yield and relatively good quality, it was registered as "Mat Rush Grass Norin No. 1" in 1957. This variety has been warmly encouraged in Hiroshima, Kumamoto and Fukuoka Prefectures. This variety has a good characteristic to produce long stems of good elongation, accordingly resulting in high yield, in spite of comparatively few tillers. But the stems of this variety bear more flowers and thicker than those of "Hiroshima No. 6" and "Okayama No. 3".

Though these characters are disadvantageous for weaving Tatami-facing, the stems are suitable to weave into strong mat which is commonly used, by power loom, because of their good gloss and hardness.

This variety shows the stability of cultivation, because of small variation of yields with the year. Therefore it is well adapted to any cultivation area in Japan.

Besides, it makes comparatively high resistance to "Mongare disease" (*Rhizoctonia* sp.)